

京浜トラックターミナルに高機能型物流施設「A 棟(仮称)」の建設計画を推進



【施設概要】

住 所: 大田区平和島2-1-1
京浜トラックターミナル内
建築面積: 約 21,000 ㎡
延床面積: 約 105,000 ㎡
構 造: 柱RC 梁S造
(免震構造)
地上 5 階建
竣工予定: 平成 29 年秋頃

日本自動車ターミナル株式会社(本社所在地 東京都千代田区・代表取締役社長 河島均)は、このたび京浜トラックターミナル(大田区平和島)に高機能型物流施設「A 棟(仮称)」の建設計画を推進することといたしました。

当社は、物流の合理化、道路交通の円滑化及び都市機能の向上に資するため、都内4カ所にトラックターミナルを整備し、管理・運営しております。

供用開始後 47 年が経過する京浜トラックターミナルでは、これまでもトラック運送事業者の皆様のニーズにお応えするとともに、限られた土地の有効利用を図るため、複合物流施設の建設をはじめとする施設の再開発計画を進めてきております。

今回の京浜トラックターミナル「A 棟(仮称)」建設計画もこの施設再開発計画の一環であり、本年 5 月に竣工しました複合物流施設「新7号棟」に続く、当社創立 50 周年記念プロジェクトとして位置付けております。

本建物は、各階に 40ftコンテナ車が直接乗り入れできるダブルランプウェイ方式を採用することで、利便性の高いワンフロアでの効率的な事業展開が可能となります。

また、災害対応としては、免震構造の採用や既に設置済みの京浜トラックターミナル全体をカバーする 72 時間対応の非常用自家発電設備により、利用者の皆さまのBCP(事業継続計画)の実現に大きく寄与することが可能となります。

さらに、環境保全への対応として、豊富な緑地を配置して利用者の憩いの空間づくりやモノレールからの景観に配慮するとともに、LED 照明の設置や再生可能エネルギーの活用に向けた太陽光発電設備の設置等も計画していきます。

今後も日本自動車ターミナル株式会社は、物流事業者様のニーズと社会の諸要請に応え、物流環境の変化に的確に対応したトラックターミナルの再開発計画を進めてまいります。